

9月1日は「防災の日」 今こそ高める防災意識

災害に対する認識を深めようと、毎年9月1日を防災の日、8月30日から9月5日までを防災週間としています。平成23年の東日本大震災は、東北地方を中心に本市にも大きな爪痕を残しました。また近年、全国各地で台風や集中豪雨などの自然災害が発生し、大きな被害をもたらしています。防災の日を機会に、災害について今一度見つめ直しましょう。

防災意識を高める

東日本大震災を踏まえ、あらためて一人一人が災害について考え、防災意識を高めていく必要があります。

●自らが「自助」の意識

自らの生命は自らが守るという自助の意識が求められています。災害が発生したときに確かな行動が取れるよう、地域や職場などの防災訓練には積極的に参加し、自身の「防災行動力」を高めましょう。

●みんなで「共助」の意識

自分たちの町は自分たちで守るという共助の意識を共有し、

地域の人々が協力して助け合い、被害を最小限にとどめることも大切です。

また障害がある人、要介護などの認定を受けた人や高齢者など、災害が発生したときに配慮を要する人(要配慮者)を、地区や自治会、事業所などが協力して気遣うことも重要です。普段からコミュニケーションを図り、いざというときには、協力し合いながら支援しましょう。

安否確認は「災害用伝言サービス(なご711)」で

東日本大震災では、家族などの安否を確認する電話が殺到し、電話がつながりにくくなりました。こうした災害が発生したときでも、家族や知人の安否確認や避難先の連絡などを行うことができるのが、災害用伝言サービスです。

このサービスは、毎月1日と15日、防災週間などに体験利用

ができます。もしもに備えて、安否確認方法を確認しておきましょう。

防災行政無線の戸別受信機の使用で注意すること

●電池交換後は電源操作を

各世帯に配布してある戸別受信機は、停電対応用として単一電池を2本セットしてあります。戸別受信機から電池の容量がなくなった合図(放送終了後の音声案内、ポリウレムの左にある電源ランプの赤色と緑色の点滅)があった場合は、アルカリの単一電池に交換し、右側面

にある電源スイッチ(黒色で下に可動)を一度切り、再度スイッチを入れて使用してください。

●聞こえにくいときの対処

電池容量の有無とは関係なく、受信状況が悪く聞こえにくい場合があります。アンテナを最大に伸ばすか、設置場所を変え、電源を入れ直してみてください。それでも聞こえない場合は、問い合わせてください。

問い合わせ先

総務課地域安全班

☎62・5311

受講者募集

千葉県災害対策コーディネーター養成講座

期間/10月10日(金)~12日(日)

時間/午前9時30分~午後4時30分

場所/船橋市浜町公民館

対象/防災に関心があり、3日間とも受講できる人

定員/50人

※申し込み多数の場合は抽選。

内容/地域での防災知識の普及促進、災害発生時にボランティア団体との連絡調整などを担う人の養成

申し込み方法/9月8日(月)~26日(金)の間に、申込用紙を郵送またはファクス、メールのいずれかで提出してください。

※郵送の場合は締め切り日の消印有効。申込用紙は県ホームページ(<http://www.pref.chiba.lg.jp/bousaik/event/2014/20141010.html>)からダウンロードするか、問い合わせ先に請求してください。

申し込み・問い合わせ先/〒260-8667 県防災危機管理部防災政策課(☎043-223-2176、FAX043-222-5208) ✉bousai-ev@mz.pref.chiba.lg.jp



道路を埋め尽くすがれき(東日本大震災時)